

第五十九回 帝國議院 衆議

# 地租法案外六件委員會議錄(速記)第十回

會 議	昭和六年二月十四日(土曜日)午前十時
出席委員左ノ如シ	四十六分開議
委員長 本田 恒之君	出席委員左ノ如シ
理事 西脇 晉君	大藏省主税局長 青木 得三君
理事 永田 善三郎君	正憲君
理事 中村 繼男君	大藏參與官 勝
理事 高橋 熊次郎君	大藏省主税局長 青木 得三君
理事 清水 銀藏君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
松井 文太郎君	地租法案(政府提出)
戸部 良祐君	營業収益税法中改正法律案(政府提
松本 忠雄君	出)
前田 房之助君	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提
竹田 儀一君	出)
武田 德三郎君	織物消費稅法中改正法律案(政府提
東郷 土井 権大君	出)
岡田 忠彦君	明治四十一年法律第三十七號中改正
松谷 與二郎君	法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提
出席國務大臣左ノ如シ	出)
内閣總理大臣臨時代理	大正十五年法律第二十四號中改正法
外務大臣男爵 幣原喜重郎君	律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)
出席政府委員左ノ如シ	○本田委員長 是ヨリ開會致シマス、
内務參與官 一宮房治郎君	都市計畫法中改正法律案(政府提出)

○武田委員 私ハ此減稅案全體ニ付キ  
マシテ大體ノ御方針ヲ首相代理ニ伺ヒ  
タイト思フノデアリマス、其伺ヒタイ  
デアリマスカラ、一ツノニ就テ伺ヒ  
タイト思フノデアリマス  
第一ニ御伺申シタイ事ハ、現内閣成  
立ノ當時ニ是ハ屢々種々ナル機會ニ於  
テ繰返サレタルコトデアルガ、其政綱ノ  
中ニ國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フコト  
ヲ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、ノミ  
ナラズ其後政府ノ政策ニ依リシマテ  
——政策ノ結果ニ依リマシテ貨幣價值  
ガ急ニ引上ゲラレテ居ルノデアリマ  
ス、貨幣價值ガ急ニ引上ゲラレタト申  
スコトハ、言ヒ換ヘテ見マスナラバ  
價ガ下落シ、隨テ國民ノ收入ガ激減シ  
タト云フコトデアリマス、國民ノ收入  
ガ激減シタト云フコトヲ更ニ言ヒ換ヘ  
テ申シマスルナラバ、吾々ノ負擔ガ増  
加シタト云フコトデアルノデアリマ  
ス、即チ今日マヂ十圓ノ負擔ヲシテ居  
リマシタ者ガ、貨幣價值ガ約三割上ッテ  
居ルノデアリマス、サウスルト云フト  
大體カラ申スナラバ即チ吾々ノ負擔ヲ  
三割減額シテ宜シイヤウナ筋合ニナル  
ノデアリマス、然ルニソレガ其儘十圓  
ノ負擔ヲサセラレテ居ルコト、致シマ  
スルナラバ、吾々ハ當然三圓内外ノ餘  
計ノ負擔ヲサセラレタト、斯ウ云フコ  
トニモ見ユルノデアリマス、是ハ當然  
ノ歸結デアラウト思フノデアリマス  
而シテ斯様ナル貨幣ノ急激ニ騰貴シ  
タト云フコトハ、色々ナル是ハ理由モ  
アリマセウ、或ハ現内閣ノ大藏大臣ノ  
御意見ニ依リマスレバ、是ハ世界的ノ  
不況ノ結果デアルト云フヤウニ斷定ヲ  
セラレテ居リマス、是ハ豫算委員會ニ  
於テモ色々ノ論議ガ盡サレ、其程度ニ  
於テハ意見ガ異ナリマスケレドモ、鬼  
モ角モ政府ノ政策ガ影響シテ居ルト云  
フコトハ、大藏大臣モ御認ニナッテ居  
結果、或ハ財政緊縮ノ結果ガ國民ノ收  
入ヲ激減セシムル重大ナル原因デア  
クタト云フコトハ、大體ニ於テ御認ニナッ

付託議案  
地租法案(政府提出)  
營業収益稅法中改正法律案(政府提出)  
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)  
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)  
明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)  
大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地  
方稅ニ關スル件)(政府提出)  
都市計畫法中改正法律案(政府提出)  
耕地整理法中改正法律案(政府提出)

如キハ爭フベカラザル事實デアルト思  
フノデアリマス、臨時議會ニ於キマシ  
テ大藏大臣竝ニ總理大臣ハ其點ヲ現内  
閣ノ效能トシテ力説サレテ居リマス、  
即チ中央地方ニ於テ四年度ニ於テ約四  
億萬圓、五年度ニ於テ約五億萬圓ノ節  
約ヲシタト云フコトヲ以テ、此内閣ノ  
手柄トシテ誇ツテ居ラレルノデアリマ  
ス、其善惡ハ敢テ私ハ茲ニ論議スル譯  
デアリマセヌ、併ナガラ斯様ナ節約ノ  
結果ハ經濟界ニ如何ナル影響ヲ及ボス  
デアリマセウカ、當然「デフレーション」  
ヲ惹起スノデアリマス、經濟界  
ニ一般的ノ「デフレーション」ヲ惹起  
シタト云フコトハ、即チ貨幣價值ノ騰  
貴、隨テ物價ノ下落、其結果トシテ國  
民ノ收入ハ激減シタト云フコトハ、是  
ハ爭フベカラザル事實デアル、又論理  
ノ歸結デアル、斯様ニ致シマスト、大  
體申セバ政府ノ政策ニ依ツテ貨幣價值  
ガ遽ニ騰貴フシ、其結果國民ノ收入ガ  
激減シタト云フコトハ、首相代理モ御  
認ニナラナケレバナラスコトダト思  
フ

國民ノ立場カラ申セバ政府ノ政策ニ依ッテ、斯様ナ結果ヲ來シタノデアリマス、又ス、即チ吾々國民ノ收入ガ激減シタ、其結果負擔ガ增加サレタコトニ相成ツニ對シテ權利ヲ以テ、減稅其他ノ方法ヲ以テ吾々ノ負擔ヲ輕減シテ貰ヒタイマト云フコトヲ、要求スルコトガ出來ルト信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ今日マデ何等國民負擔ノ輕減ノ實ヲ舉ゲテ居ラナイ、前議會ニ於テ漸ク義務教育費一千萬圓ノ國庫負擔増額ヲ斷行セラレタノミデアリマス、是等ハ決シテ國民負擔ノ輕減ノ趣旨ガ實行セラレタトハ思ヘマセヌ、勿論無イニ優ルト云フ程度ノモノデアル、今日吾々國民ノ負擔ハ、租稅收入竝ニ其他ノ官業收入ニ於テ、十億以上ニ上ッテ居リマス、然ラバ一千萬圓ト云フモノハ吾々ノ負擔ノ百分ノ一ニシカ過ギナイノデアリマス、此一千萬圓ノ義務教育費國庫負擔ノ増額ノ一事ヲ以テ、此重大ナル政府ノ責任ヲ果シ得タト首相代理ハ御考ニナツテ居リマスカ、然ラズンバソシタ、此事實ヲ認メナガラ今日マデ未ダ國民負擔ノ輕減ノ政策ヲ御執ニナラナカツタト云フコトハ、如何ナル理由デ

○ 帰原國務大臣 ソレ等ノ問題ハ度々  
繰返サレタ事ト思ヒマスガ、現内閣ガ  
成立致シマスルヤ先ヅ金解禁ノ必要ヲ  
認メタ、其爲ニハドウシテモ整理節約  
ノ方針ニ出デルヨリ外ニ仕方ガナイト  
云フコトハ御承知ノ通リデアリマス、  
然ルニ其後世界ノ大不景氣ナルモノガ  
襲來致シタ爲ニ國庫ノ收入モ非常ニ激  
減シタ、之ニ對シテハヤハリ整理節約、  
緊縮ノ方針ヲ以テ臨ム外仕方ガナイン  
デアリマス、物價ノ下落ガ政府ノ政策  
ノ結果デアルト仰セラレマスケレド  
モ、是ハ世界ノ大不景氣ノ影響デアリ  
マスカラ、之ヲ政府ノ政策ノ結果ト言ハ  
レルノハ當ラナイノデハナイカト思ヒ  
マス、是等ノ點ニ付テハ度々論議サレ  
タコトト思ヒマスカラ、クドクシク  
ハ申上ゲマセヌ、減稅ヲスベキヂヤナ  
イカ——政府ノ方ニ於キマシテ、國庫  
ノ方ノ縹合セガ付キマスナラバ減稅モ  
致シタイノデアリマスガ、今日ノ如キ  
財政上ノ狀況ヲ以テ俄ニ減稅スルコト  
ハ、今日マデ出來ナカッタノデアリマ  
ス、幸ニ今回軍縮條約ガ成立致シマシ  
テ、若干ノ餘剩ガ出來タモノデアリマ  
スカラ、ソレヲ以テ減稅ニ充テルト云  
フコトデアリマス

付テモ御伺シタイ、成程實際ハサウデ  
アルカ知レマセヌケレドモ、現内閣ノ  
立場トシテハ左様ナ事ハ言ハレル筈ガ  
ナイト思フ、首相代理ハ先般貴族院ノ  
本會議ニ於テ斯様ナル御答辯ヲナスツ  
テ居ル、昭和五年度ノ歳入ハ意外ニ減  
額シタカラ、歳出ノ方ニモ減額ヲ加ヘ  
タ、又昭和六年度ノ歳入ガ、見積過大  
デナイト思フケレドモ、若シ見積過大  
ノ弊ニ陥ツテ足リナイ場合ニハ、歳出ヲ  
減ズルノデアルト御答辯ニナツテ居ル、  
大藏大臣モソレ程明白ニハ仰シヤラヌ  
ケレドモ、歳入ニ缺陷ヲ生ズル時ハ、  
ソレニ伴ツテ歳出ヲ減ズルト云フコト  
ハ、今日ノ民政黨内閣ノ財政ノ建方デ  
アルト、外ノ機會ニ於テ御言明ニナツテ  
居ル、然ラバ歳入ガ自然ニ減ズルト云  
フコトモ歳入ノ減デアリマス、同時ニ  
政府ハドウシテモ其義務ニ屬スルヤウ  
ナ關係カラ歳出ヲ減ジナケレバナラナ  
イト云フ事情ガ起リマシタナラバ、ヤ  
ハリ是ハ歳入ノ減ト見テ、ソレニ適應  
スルヤウニ歳出ヲ減ズルト云フコトヲ  
爲サツテ然ルベキ筋合デハナカラウカト  
思フノデアリマス、財源ガナカツタカラ  
言葉ヲ別ノ言葉ヲ以テ申シマシタナラ  
——ナカツタデハナイ、御作リニナラナ  
イノデアル、此意味ニ於テ首相代理ノ  
スル、國民ノ負擔ヲ輕減シテヤルケレ

ドモ、サウデナケレバ輕減ハシナイノ  
ダト云フコトニ私ハナルト思フ、ソレ  
デハ現内閣ノ國民負擔ヲ輕減スルト云  
フ政策政綱ノ手前ニ對シ、又自己ノ政  
策ノ結果ニ依ツテノ責任ヲ負フト云フ  
意味合ニ於テ、甚ダ不當デハナイカト私  
ハ思フノデアリマス、ドウシテモ是ハ  
輕減スベキモノデアル、自分ノ政策政  
綱ニ忠實デアルナラバ、國民ノ負擔ヲ  
減額シナケレバナラヌモノデアル、斯  
様ニ御考ヘニナルヤ、又自己ノ政策ノ  
結果、又他ノ理由ニ依テモ國民ノ收入  
ガ非常ニ減ジタト云フコトデアツテ、事  
實上國民負擔ヲ増額シテ居ルヤウナ基  
シムベキ結果ヲ現ニ見テ居ルト云フヤ  
トデアツタナラバ、ドウシテモ減稅ノ計  
畫ヲ御立テニナラナケレバナラヌ筈デ  
アル、財源ガナカッタノデアルト云フヤ  
ウナコトハ、決シテ責任アル首相代理ト  
シテ、民政黨内閣ノ政綱ニ對シテ左様  
ナ御答辯ガアルベキ筈ガナイト私ハ思  
フノデアリマス、ドウゾ詳細ナル其點  
ニ向ツテノ御意見ヲ御示ヲ願ヒタイノ  
デアリマス

臣ヨリモサウ云フ趣意ニ於テ答ヘラビ  
テ居ルト私ハ諒解致シテ居リマス  
ソレカラ政府トシテ當然減税ノ計畫  
ヲ樹テルベキモノデアルト云フ御説ニ  
稅ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルコ  
トハ申スマデモナイノデアリマス  
何ダカ歳入不足ノ場合ニ於テ更ニ歳  
出ヲ減ズル積リデアルト云フコトヲ私  
ガ言ツタト云フコトヲ御述ニナリマシ  
タガ、恐ラクハ貴族院デ御答ヘシタ所  
ノ、ソレノ趣旨ヲ能ク理解シテ居ラヌ  
ノデハナ・イカト思フノデアリマス、貴  
族院デ私ガ御答致シマシタノハ、要ス  
ルニ歳入不足ト云フコトハ來スベキモ  
ノデハナイト自分デハ確信シテ居ル、  
之デ以テ行ケルト思ツテ居ル、ソレナラ  
バサウ云フ場合ガ生ジタラドウスルカ  
ト言ハレマシタカラ、會計法上ノ規則  
カラ見レバ、ソレハドウモ歳出ノ方ヲ  
減ズルト言フシカ仕方ガナイ、會計法  
上ノ法規ハサウ云フコトニナルト云フ  
コトヲ私ハ附加ヘテ申シタノデアリマ  
スケレドモ、サウ云フ場合ハ起ツテ來  
ナイト云フコトヲ私ハ前ニ言ツテ居ル  
ノデアリマス、吾々ノ見ル所ニ於テハ  
其様ナ場合ガ起ツテ來ルコトハナイ、議  
トヲ明カニ答ヘテ居ルノデアリマスカ

○武田委員 首相代理ノ答辯ハ尙ホ私ノ質問ニ當ツテ居リマセヌ、併シ今ノ御辯解ハ少シク間違ツテ居ルト思ヒマスカラ私ハ一ツ更ニ伺ツテ見ナケレバナラヌ

首相代理ガ貴族院ニ於テ答辯シタノハ、自分ハ昭和六年度ノ歳入ハ見積り過大ノ弊ニハ陥ツテ居ナイ、隨テ豫定ノ收入ガ取レルト思フ、ケレドモ取レナイト云フ場合ハドウダト言ハレルカラ、ソレハ會計法上ノ規定ニ依ツテ云々トスウ仰シャッタ、ケレドモ私ハ左様ニハ諒解ヲ致シ兼不ル、何トナレバ他ノ場合ニ於テ大藏大臣ハ同様ノ質問ニ答ヘテ——衆議院ノ豫算總會ニ於テ、假定ノ事ニハ返事ガ出來ナイト言ウテ之ヲ突ツ張ラレタノデアリマス、而シテ大藏大臣ハ他ノ機會ニ於テ、又雑誌ノ論文其他ノ著書ニ於テ、現内閣ノ方針ハ歲入ヲ先ニキメテ歲出ヲ後カラキメルノデアル、普通ノ場合ニ於テハ所謂出ヅルヲ量ツテ入ルヲ制スト云フコトガ財政ノ方針デアルカモ知レヌケレドモ、今日ノ場合ハ特殊ノ場合デアルカラ、ソレヲ變態ニシテ歲入ヲキメテ歲入ニ應ズルヤウニ歳出ヲキメルト云フノガ現内閣ノ特殊ノ財政ノ建前デアル、是ハ此財政ノ變態ニ應ズル已ムヲ

テ居ラレルノデアル、既ニ歳入ヲ先ヅ  
キメテ、其歳入ニ應ズルヤウニ歳出ヲキ  
メルト云フ此變態的ノ豫算編成ノ方針  
非ハ姑ク措イテ、吾々ハ此方針ニ賛成  
ハ致シマセヌケレドモ、左様ナル御方  
針ヲ御執リニナツタト致シマスレバ、首  
相代理ノ貴族院ニ於ケル御答辯ハ即チ  
其趣旨ニ應ジテノ御答辯ト思フノデア  
リマス、ノミナラズ既ニ歳入ヲキメテ  
然ル後ニ歳出ヲキメル、ソレニ應ズル  
ヤウニキメルト云フ内閣ノ方針デアル  
ト致シマスナラバ、先程私ノ御質問申  
上ゲタ此國民負擔ノ輕減ガ絶對的ニ必  
要デアルト云フコトヲ内閣ガ御認ニナツ  
タナラバ、歳入ヲ先づ御決定ニナツタラ  
宜カラウ、之ヲ減ズルコトガ相當デア  
ルト云フナラバ、其程度ノ歳入ヲ御定  
メニナツテ、サウシテソレニ順應スルヤ  
ウナ歳出ヲ御定メニナツタラ宜イデハ  
アリマセヌカ、財源ガナイカラ減稅シ  
ナイノダト云フコトハ、此内閣ノ財政  
ノ建前ノ其方針ニ反シタ御答辯ト言ハ  
ナケレバナラヌノデアリマス、重ネテ  
其點ヲ明カニ伺ヒマス

タナラバ、何故ニ歳入ノ方ヲ先ニ減ジテ御量リニナラナイ、歳入ヲ減ジタナラバ減ジタヤウニ歳出ヲ減ズルト仰シヤツテ居ル、歳出ヲ先ニキメテ、ドウシテモ歳入ガ足ラヌト云フナラバ、アナタノ先程ノ御論ハ立チマスケレドモ、サウデナイ以上ハドウシテモ御論ハ立タナイノデアル、先ヅ其點ニ付テ首相代理ノ御高見ヲ承リマス

○幣原國務大臣 只今御問ニナリマシタコトハ、或ハ私ト意見ヲ異ニスル所ガアルカモ知レヌガ、要スルニ私ハ既ニ先刻御答申シタヤウニ考ヘテ居リマス、要スルニ今日提案致シマシタ減税ハ、緊縮節約ノ範圍内ニ於テ之ヲ行フノデアリマス、ソレ以上ニ涉ツテドレダケノ減税ヲ行ヒ得ルカ、或ハ行フカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ本會議ニ於テモ申シタ如ク、行政整理、財政整理、税制整理、此三制ノ整理ヲ行フ、其結果ヲ俟ツシカ仕方ガナイノデアリマス貴族院デ私ガ申シタコトニ付キマシテ御攻撃ガアリマシタガ、假定的ノ質問ト云ヘバ或ハ答ヘル必要ハナカッタカモ知レマセヌケレドモ、會計法上ノ理論ト致シマシテハ私ハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、會計法上ノ法理ヲ申シマシタノデ、政府ハ必ずシモ其趣意デヤルトカ云フコトヲ斷言ハ致シマセヌ、私ハ會計法上斯ウナルベキモノ

デアルト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、何ニ致シテモ前段ニ私ガ申シマス通り、六年度ノ歳入見積ハ過大デナイ、或ハ歳入不足ヲ來スコトハナイト云フコトヲ信ジテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレ以上ハ全ク假定ノ問題ニナルノデアリマス、此問題ニ付テ大藏大臣ガ假定的ノ問題デアルカラト言ツテ答辯ハ出來ヌト仰シヤルノモ其通リデアルト私ハ思ヒマス、私ハ唯貴族院デバ先刻モ申上グマシタ如ク會計法上ノ理論ヲ申シタケノヨトデアリマス

○ 币原國務大臣　國民負擔ノ輕減ガ望  
吾々モ其必要ヲ認メテ出來ルダケノコ  
トハヤツテ居ル積リデアリマス、今回モ  
御承知ノ如ク軍縮條約ノ結果財源ガ生  
ジタノデ之ヲ行フノデアリマス

○ 武田委員　國民負擔ノ輕減ガ望マシ  
イト云フヤウナコトヲ私ハ伺ツテ居ル  
ノデハナイ、殊更國民負擔ノ增加ヲ希  
望スルヤウナ者ガ何處ニアリマセウ、  
私ハ現内閣ノ聲明ノ上カラ申シマシテ  
モ、低物價政策ヲ執ラレタ結果トシテ、  
國民ノ收入ガ減ジタ云フ上カラ考ヘ  
マシテモ、國民負擔ノ輕減ヲ圖ルコト  
ハ、殆ド現内閣ノ義務ニ屬スル絶對必  
要ナ事デハナイカ、斯様ニ考ヘラレナ  
イカ、其點ヲハツキリ仰シヤツテ戴キタ  
イ

○ 币原國務大臣　其點ハ既ニ答ヘタ積  
リデアリマス、今日ノ物價ノ下落ハ、  
政府ノ執ツタ政策ニ依ツテ多小誘致シタ  
コトモアリマセウケレドモ、最大原因  
ハ世界ノ不景氣デアル、併ナガラソレ  
ダカラト云ツテ、國民負擔ノ輕減ヲ等閑  
ニスルコトハ出來ナイ、出來ルダケ之  
ヲ行フ、是デ辻棲ノ合ハナイコトハナ  
イト私ハ考ヘテ居リマス、

○ 武田委員　然ラバ進ンデ伺ヒマス、

先程伺フ所ニ依ルト、現内閣ノ財政ノ立方ノ御方針ハ歳入ヲ先づ定メテ歳出ヲ御定メニナル、是ハ首相代理モ御認ニナツテ居ルデアラウト思フ、然ラバ國民負擔ノ輕減ガ必要デアルト御認ニナツタ以上ハ、先づ適當ナル程度ニ於テ、歳入ノ減少ヲ御圖リニナリ、而シテ歳出ヲ御減ジニナレバ、現内閣ノ財政方針ノ立方ニ順應シテ國民負擔ノ輕減ガ出來ルデハアリマセヌカ、自然ニ財源ガ出ルマデ知ラヌ顔ヲシテ居ツタノデハ、國民負擔ノ輕減ハ必要デアルト云フ首相代理ノ御言葉ノ御趣旨ニ適ハヌデハアリマセヌカ、現内閣成立以來既ニ二年ニ垂ントシテ居ル、故ニ從來ニ於テナゼ其政策ヲ御執リニナラナイカ、重ネテ御説明ヲ煩ハシタイ○幣原國務大臣 度々同ジ事ヲ繰返スヤウデアリマスガ、要スルニ歳入ト歳出トノ均衡ヲ圖ルト云フコトハ財政上當然ノ事デアリマス、財源ガ自然ニ生ジテ來タカラ減稅スルト云フノデハアリマセヌ、海軍ノ剩餘ニ付キマシテモ、政府ノ努力ニ依ツテ此減稅ノ財源ガ出来タ、

御考へニナルノデアリマスカ、政府ハ  
低物價政策ヲ執ツテ國民ノ收入ヲ減ジ  
テモ、ソレニ對シテ國民ノ負擔ヲ輕減  
セシムル必要ヲ感ジナカッタ、斯ウ云フ  
コトニナルノデアリマスカ  
○幣原國務大臣 其點ハ度々答ヘテ居  
リマス、低物價ハ即チ世界ノ大不景氣  
ガ原因ヲ爲シテ居ルノデアリマシテ、  
政府ノ政策ノ結果ハ極メテ僅カナ部分  
デアルト私ハ認メテ居ルノデアリマシ  
テ、同ジ答ヲ繰返ス外致方ナイノデア

此影響ガアルカ無イカ分ラヌト云フヤ  
ウナ事ヲ仰シヤルニ至ツテハ、實ニ言語  
道斷デアル、故ニ敢テ私ハドノ位ノ程  
度ニナルト云フコトヲ御尋シテ居ルノ  
デハナイ、既ニ大藏大臣ノ御認ニナッタ  
事實ニ於テ、金解禁、財政上ノ緊縮、  
消費ノ節約、是等ニ依ツテ物價ヲ低落  
シヨウト云フ計畫ヲ爲サツタノデハナ  
イカ、其結果ガ現レテ今日約三割ノ物  
價ガ下落シテ居ルノデアリマス、是モ  
事實デアリマス、然ラバ三割迄モ物價  
ガ下落シテ、ドレダケガ外國ノ影響デ

下ト云フコトハ、是ハ下落ト云フコト  
モノデアル、政府ノ政策ト云フモノハ  
極メテ僅ナ部分ニ於テ原因ヲ爲シテ居ル  
モノデアリマス、ケレドモ今日三割  
ト云フモノ、低落ガアツタト仰セラレ  
ル、是ハ政府ノ政策ノ結果デアルト云  
フコトハ私ハ承服致シマセヌ、私ハ左  
様ニ考ヘテ居ラナイト云フコトヲ度タ  
申上ゲテ居ルノデアリマス、主タル原  
因ハドウシテモ世界ノ不景氣デアル、  
斯様ニ私ハ思ツテ居ルノデアリマス

○武田委員 首相代理ハ甚々曖昧ナコトヲ仰シヤル、アナタハ自ラヲ欺クモノデハアリマセヌカ、ドノ程度ニ政府ノ政策ガ影響シタカト云フコトハ測量ハ出來マスマイ、併ナガラ金解禁ニ依ッテ、貨幣價值ノ上ヲタコトハ大藏大臣ガ認メラレテ居ル、又アナタ方ガ消費節約ヲ主張サレタノハアリマセヌカ、緊縮政策ヲ財政ノ上ニ御執リニナツテ、先程申上げマシタ如ク昭和五年ニ於テ五億萬物價ヲ下落シヨウトシテ消費節約ヲ主張サレタノデハアリマセヌカ、圓モ御減ジニナツタノデアル、政府ガ國庫カラ五億萬圓ノ拂出ヲ差控ヘタンダト云フコトハ、日本全國ニ於テ五億萬圓ノ金ノ融通ヲシナカッタト云フコトデアリマセウ、其結果斯様ニナツタト云フコトハ當然ノ事デアリマス、然ルニ

ア、テトレタケガ政策ノ景響タト云  
ヤウナコトヲ茲ニ論議シテ居ルノデハ  
ナイ、少クモ物價ノ低落ガ政府ノ政策  
ノ結果デアル、世界不況ノ影響モアリ  
マセウケレドモ、豫期ノ如クヤハリ大  
藏大臣ガ言ツテ居ル、豫定サレタル通り  
ニ其效果ガ現レテ、今日僅カ一年半ノ  
間ニ三割以上モ物價ガ低落シテ居ルノ  
デアリマス、然ラバ國民ノ收入ノ減少  
スルコトハ當然デハアリマセヌカ、國  
民ノ收入ノ激減シタト云フ結果ハ、國  
民負擔ノ増加ニナッテ居ルト云フコト  
ハ、是亦已ムヲ得ナイ、然ラバ是等ニ順  
應スルヤウナ國民負擔ノ輕減ヲ圖ルト  
云フコトハ政府ノ義務デハナイカ、此  
點ヲハツキリ伺ツテ置キマス

武田委員　然云ハモウ一通方面テ  
ヘテ伺ヒマス、假リニ首相代理ノ御者  
ノ如キコト、假定致シマス、即チ日本  
ノ物價ノ下落、貨幣ノ價值ノ急激ナル  
騰貴ト云フモノハ、政府ノ政策ノ影響  
ハ極メテ少ナイ、外國ノ影響ガ極メテ  
大キイト斯様ニ見マシテモ、兎ニ角現  
實ニ於テ國民全體ノ收入ガ激減シテ居  
ルコトハ、御認ニナラザルヲ得ナイデ  
アリマセウ、然ラバ國政變理ノ任ニ當ツ  
テ居ルアナタト致シマシテ、其原因ノ  
何レニ拘ラズ、國民ハ非常ニ負擔ノ重  
荷ニ苦シニ居ル、ソレハ何ノ爲カト云  
バ、之ニ向ツテアナタ方ノ組閣當時御  
声明ニナツタ聲明ノ手前、國民負擔ノ輕  
アル、斯様ナ事實ヲ御認ニナツタナラ  
ム、此内

閣トシテ避クベカラザル義務デハアリ  
マセヌカ、然ルニソレヲ御實行ナサラ  
ナカツタノハ何故デアルカ、此點ヲ一ツ  
伺ヒタイノデアリマス

○幣原國務大臣 既ニ減稅ノ計畫ハ出  
シテ居ルノデアリマス、政府ハ自分ノ  
政策ニ依リマシテ、政綱ニ依リマシテ、  
デアリマス、ソレハ詰リ軍縮ノ條約ノ  
定マリマシタ結果、之ヲ減稅ニ差向ケ  
ナケレバナラヌト云フコトデ、國民負  
擔ノ輕減ニ重キヲ置イテ居リマスカ  
ラ、此方ニ差向ケタノデアリマス

○高橋委員 私ハ今質問應答ノ經過ヲ  
伺ツテ見ルト非常ニ驚イタ、ドウカ爲  
サツタノデヤナイカト思フ程私共ハ驚  
イテ居ル、先づユックリ小川君カラ助ケ  
船デモ何デモ出シテ戴イテ差支ナイカ  
ラ、落付イテ御答辯ヲ願ヒタイ、一體  
減稅案ハ出テ居ルト云フガ、アナタハ  
多年ノ間國民ニ約束ヲ爲スツテ居ル、殊  
ニ昨年ノ總選舉ノ前ニ當ツテ十大政綱  
デハモノ足ラスト云フノデ、八大政綱  
ト云フモノヲ色々ナ手續ヲ經ラレテ慎  
重ニ審議ヲ重ねタ上デ選舉ノ對策、選  
舉ノ旗印トシ、遊說ノ目標トシテ天下  
ニ發表サレタル政綱ハ寔ニ時宜ニ適ス  
ルモノデ、國民ノ大多數ハ之ニ贊同シ  
タ、其後ノ特別議會ハ短期日デアルト  
云フ申譯ノ爲ニ、國民ハサウカト言ウ

テ我慢シテ今日ニ及ンダノデアル、此議會コソハ——其旗印ヲ掲ゲテ、サウシテ大多數ヲ取ッタ、斯ウ云フコトニマア表面ハ解釋サレル、ソレデアリマスカラ國民ハ騙サレルトハ知ラズシテ、今日マデ非常ニ期待シテ此議會ノ成行ヲ注意シテ居ツタ、其政綱ノ目標トシテ掲ゲラレタ國民負擔ノ輕減ト云フ、是ガ茲ニ現レタモノガ其當時御聲明ニナツタ御趣旨ノ全部デアッタノデアリマスカ、ソレトモ一部分ダケ茲ニ出サレタトスウ云フノデスカ、其點ヲ明カニ御示ヲ願ヒタイ

カラ歳入ヲ先ニキメルト云フ立場カラ、武田君ハ頗ニ歳入ヲキメル場合ニ、十分ノ理想ヲ行<sup>フ</sup>タラ宜イヂヤナイカ、今日ハ來年ノコトヲ國民ハ聽イテ居リマセヌ、今日ハドンナ經濟上ノ立場カ、即チ日本ノ非常時ダト唱ヘテ居ル、日本開闢以來、經濟上ニ是程行詰<sup>フ</sup>タコトハナイト、今日一般ニ言<sup>フ</sup>テ居ルヂヤナカ、イカ、アナタ方ハ十月ニ「<sup>フ</sup>フレーション」政策ヲ御執リニナッテ、數億萬ノ「インフレーション」政策ヲ、昨年末ヲ中心トシテ、行<sup>フ</sup>タヂヤナイカ、是ハアナタ方ノ當時ノ政策ヲ非常ニ裏切ルモノデアルガ、此目ノ前ノ經濟ヲ破壊セントスル狀態ヲ見テ、之ヲ默視スルノニ忍ビナイヂヤナイカト、大藏大臣ハ臨時議會ニ於テ聲明シテ居ルヂヤナイカ、ソレ程アナタ達ノ執<sup>フ</sup>テ居ル通貨收縮ノ政策、緊縮政策ヲ裏切ルヤウナ方法、手段ヲ執<sup>フ</sup>テモ、經濟界ヲ救ハナケレバナラヌ程ノ重大ナル時機ニ今日ナツテ居ル、而モソレハ一部分ノ金融資本家、或ハ之ニ連絡アル事業家ノミガ救ハレテ居ル、全國ノ九割何分ヲ占ムル所ノ中小商工業者竝ニ農業者ト云フモノハ、全然此救濟ノ範圍外ニ立<sup>フ</sup>テ居ルノデアリマス

スカ、アナタ方ハ屢々國民負擔ヲ輕減ス  
ルト云フノハ、一面ニ於テ國民ノ生活  
ヲ安定セシメテ、一面ニ於テ産業ノ振  
興ヲ圖リ、產業上ニ重稅ノ爲ニ重壓ヲ  
加ヘラレテ居ツタ、金ノ鎖デ足ヲ結ビ付  
ケラレテ居ツタ、其鎖ヲ除クノダト言ハ  
レタヂヤナイカ、其意味ニ於テ國民ハ  
アナタ方ノ聲明ヲ信ジテ、多數ノ投票  
ヲアナタ方ニ入レラレタノデアル、其  
手前、アナタ方ハ絶對多數ヲ持ツテ居ル  
ノデアルカラ、何事ヲモ爲シ得ルノデ  
アル、此場合ニ何ヲ躊躇シテ、アナタ  
方ノ政策ヲ行ハナイノデアルカ、而モ  
歳入サヘ此際キメレバ宜イ、歳出ハ按  
配出來ルト云フ建前ニアルノデアル、  
ナゼ歳出ヲ減ジテ更ニヤラナイカ、而  
モアナタ方ハ——私ハ大藏大臣ニ質問  
ノ途中デアリマス——二年前ノ組閣當  
時ニハ減俸案ト云フモノヲ中外ニ聲明  
サレ、一部ノ反對ガアツタト云ツテ、輿  
論ノ趨向ニ顧ミテ之ヲ撤回スルト言ハ  
レタ、今日ハ天下ヲ舉ゲテ、負擔ノ均  
衡ノ上カラ、又歲費ノ節約ノ上カラ、  
官吏ノ減俸ヲ糾然トシテ唱ヘテ居ル、  
官吏ソレ自身モ、是デハ國民ニ濟マナ  
イカラ、若シ政府カラサウ云フコトガ  
アツタナラバ、之ニ應ジナケレバナラヌ  
ト云ツテ、チャント臍ヲ固メテ居ル、ソ  
レニモ拘ラズ是等ノ事ニ手ヲ觸レラレ  
ナイ、出來得ル限りヤッタノダナド、云

フコトハナイノデアル、サウ云フコト  
デハ吾々ハ承服ガ出来ヌノデアリマ  
ス、ソレデアリマスルカラ、武田君ノ  
問フ所ニ對シテ、モウ少シハキリシ  
タ、興奮サレナイデ、落著イテ一ツ御  
答辯ヲ願ヒタイ

○幣原國務大臣 又同ジ事ヲ繰返スコ  
トニナルカモ知レマセヌガ、要スルニ  
政府ハ國民負擔ノ輕減ヲ行フト云フ主  
義ヲ、忠實ニ行ツテ居ル積リデアリマ  
ス、昨年ニ於キマシテハ、御承知ノ如  
ク、義務教育費ノ國庫負擔ト云フモノ  
ヲ増シテ、以テ地方税ノ輕減ヲ圖ッタノ  
デアリマス、今年ハ六年度以後ノ減税  
計畫ヲ立テ、今日諸君ノ御協賛ヲ求  
メテ居ルノデアリマス、世界大不景氣  
ノ結果ニ依ル歲入ノ激減ニ拘ラズ、政  
府ガ忠實ニ此國民負擔ノ輕減ノ爲ニ盡  
シテ居ルト云フコトハ、國民モ亦諒解  
シテ吳レルコトデアルト、私ハ考ヘテ  
居リマス

○武田委員 私ハ此問題ハ重大ナ問題  
ダト思ヒマスルカラ、他日ノ機會ニ詳  
シク御伺スルコトニ致シマシテ、尙ホ  
重ネテ御伺申上ゲタイ事ガ澤山アルノ  
デアリマスルカラ、暫ク第一問ハ保留  
思フノデアリマス

首相代理ハ、此度御提案ニナリマシ  
タ御減税案ハ、相當デアルト御認ニナッ

テ居ルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ  
ノデアリマス、其意味ハ、軍縮剩餘金  
ガ五億八百萬圓アルノデアリマス、其  
中ノ僅ニ三分ノ一ニ足ラナイ、二割四  
分位ノモノヲ減ズルト云フ、此度ノ御  
提案デアルノデアリマス、是ハ私共ト  
シテハ甚ダ不満足デアル、併シ私ノ今  
御伺セントスル事ハ、首相代理ノ先程  
ノ御答辯カラ申セバ、政府ハ減税ノ誠  
意ヲ持ツテ居ル、故ニ過去ニ於テハ、僅  
カナガラモ一千萬圓ノ義務教育費國庫  
負擔モ増額シタ、今度モ亦十分デナイ  
シタ、之ヲ以テ政府ノ誠意ヲ認メロト  
云フヤウナ意味ノ御答辯デアツタ  
併ナガラ首相代理ハ、一體減税ト云  
フモノハ其負擔ヲ減ジタ程度ニ於テ、  
效果ノアルモノト御考ヘデアルカドウ  
カ、是ハ此租稅上ノ根本ノ思想デアリ  
マス、一圓減ジタカラ一圓ノ效果ガア  
ル、五十錢減ジタカラ五十錢ノ效果ガ  
アルト御考ヘニナルカドウカ、吾々ハ  
左様ニ考ヘテ居ラヌノデアリマス、幾  
ウ、一錢五厘ノ端書ヲ買フ時ニ、吾々  
分デモソレハ效果ガアルトハ言ヘマセ  
ハ五錢ノ金、十錢ノ金ヲ出スト、郵便  
局ハ五厘ノ釣錢ガナイト云ツテ、五厘ノ  
郵便切手ヲ吾々ニ釣錢ニ寄越スデハア  
マス、丁度藥ノ調合ノヤウナモノデア  
リマス、一匁ノ藥ヲ服マナケレバ其病  
氣ニ效カナイモノヲ、五分ダケ藥ヲ服

ンダカラ、ソレダケ半分效果ガアル  
カト言ヘバサウハ行カヌ（「ヒヤ／＼」  
「效果ガ違フ」「同ジダ」ト呼フ者アリ）  
薬ノ處方箋ト稍似タモノデアリマス  
實例ヲ以テ申シマシタナラバ一番能  
ク御分リニナルカモ知レマセヌガ、即  
チ今日アナタ方ノ御提出ニナッタ此減  
稅案ノ中ノ、砂糖ノ消費稅ノ如キハ如  
何デアリマス、本年ハ僅ニ全體ニ於テ  
九百萬圓ノ減額ノ方針ニナッテ居ル、砂  
糖消費稅ノ如キハ洵ニ僅ナモノデア  
ル、私ハ未ダ數字ノ算盤ヲシテ居リマ  
スガ、明年度ノ砂糖消費稅ニ於テノ  
減額ハ、普通ニ使ハレテ居ル所ノ、所  
謂三益砂糖ニ付テハ、一斤ニ多分四厘  
カ五厘ノ減稅ニシカナラヌノデアリマ  
セウ、併シ四厘カ五厘ノ減稅ガ消費者  
ニ満足ニ恩惠ヲ與ヘルト御考ヘニナッ  
テ居ルカドウカ、今日吾々日本國民ノ  
經濟上ノ實際カラ考ヘテ見マスト、厘  
ト云フ金ハ計算ニハイツテ居リマセヌ、  
イ

○幣原國務大臣 減稅ノ效果、效能ト  
云フモノヲ、數字ニ言表スト云フコト  
ハ困難デアリマセウ、減稅スレバドレ  
ダケノ效果效能ノアルト云フコトハ、  
答辯出來ナイノデアリマス、少クトモ  
アルト云フコトハ、是ハ常識ヲ以テモ  
減稅シナイヨリハ減稅シタ方ガ效果ガ  
アルト云フコトハ、是ハ常識ヲ以テモ  
答辯スルコトガ出來得ルデアラウト思  
ヒマス

第五類第一號 地租法案(政府提出)外六件委員會議錄 第十回 昭和六年二月十四日

三厘、四厘、五厘ノ減額デハ、消費者  
ノ所ヘハ其恩惠ハ少シモ參リマセヌ、  
中間ノ或ハ小賣業者、仲買人、製造工業  
者ガ、徒ニ其利益ヲ取ツテシマフノデア  
ル、是ガ即チ私ハ藥ノ調合ヲ例ニ取  
テ、ドウモ首相代理ハ稅ノコトハ一向  
御分リニナラナイヤウ、デアリマスカ  
ラ、通俗的ニ實例ヲ取ツテ申上グテ居ル  
ノデアリマス、アナタ方ガ御風邪ヲ召  
シタ時ニ「アンチビリン」ヲ少シ服ンダ  
ラ宜イト云ツテ、アレヲ五ツニモ六ツニ  
モ分ケテ、指ノ先ニ附ケテ御服ミニナッ  
テモ、藥ノ效目ガナイト同ジ事デアル  
丁度此度ノ御提案ハ、國民ガ死ヌカ  
活キルカト云フ所謂生活線上ニ彷徨シ  
テ居ル今日ニ於テ、僅ニ九百萬圓位ノ  
減稅ヲシタカラ、是ガ國民負擔ノ輕減  
ニ對スル政府ノ誠意ヲ認メヨト云フコ  
トハ、少シ御無理デハアリマセヌカ、其  
點ニ對シテ首相代理ノ御感想ヲ承リタ  
ル

七

○武田委員 私ハ左様ナ事ヲ伺ッテ居ルノデハアリマセヌ、減税ヲシテモ先程申上ゲタヤウニ、一圓ノ減税ト五十錢ノ減税トハ、五十錢ハ一圓ノ二分ノ一ノ效果ガアルト御認ニナルカドウカト云フ意味ヲ伺ッテ居ルノデアル、故ニアナタ方ハ此明年度ニ於テ九百萬圓ノ減税ト云フモノヲ御提案ニナツテ居ルガ、是ガ極メテ效果ノ少イト云フノハ、數字的ニ準ジテノ效果ガ少イト云フ意味デハナイ、餘リ減額ノ金額ガ少イ爲ニ、甚シク其金額ノ比例ヨリハ效果ガ少イト云フ意味ヲ申シテ居ルノデアリマス、故ニアナタハ曖昧ナコトヲ仰シヤラズ、私ノ今例ニ取ッタ砂糖デ御答ヲ願ヒタイ、サウスレバ明瞭ニナル、今三厘カ五厘ノ砂糖消費稅ヲ減税シテ、ソレガ消費者ニ恩惠ヲ及ボスカドウカガ御答辯出來ナイ、稅ノ事ハ俺ハ分ラナイカラ答辯出來ナイト言フテ兜ヲ御脱ギニナレバ私ハ追窮致シマセヌ、其點ヲ實例ヲ以テ私ガ申上ゲタカラ實例ヲ以テ御答下サルノガ宜シ、私ハ成ベク議事進行上餘計ナ事ハ言ハナイヤウニシタイガ、ドウゾ砂糖稅ニ例ヲ取テ御答辯願ヒタイ

○幣原國務大臣 私ハ甚ダ眞面目ニ答ヘテ居ルノデアリマスガ、要スルニ國民負擔ノ輕減ト云フコトヲ政府ハ重要ナル政策ト致シテ聲明シタノデアッテ、此政策ニ對シテハ、機會ノアル度ニ減稅ヲ行ヒタイト云フ考デ、又行ヒツ、アルノデアリマス、其例ハ先刻モ申シタイ

○高橋委員 ヤツタヤラナイト云フ手段ヲ吾々ハ吟味シテ居ルノデハナイ、斯ウ云フ點ニ歸スルデアラウト思ヒマス、故ニナラヌガ宜シ、私ハ成ベク議事進行上餘計ナ事ハ言ハナイヤウニシタイガ、ドウゾ砂糖稅ニ例ヲ取テ御答辯願ヒタイ

○幣原國務大臣 要スルニ只今ノ御質問ノ要旨ハ少イ減税ナラバ減税ニナラヌ、斯ウ云フ點ニ歸スルデアラウト思

ヒマス、私ハ少クテモ減税ハ減税デアルト考ヘテ居リマス、砂糖消費稅ニ付ルト考ニナリマシタガ、是モ此減税ニテ十分ダト御認ニナルカ、吾々ハ今ハ消費者ニ取ッテソレダケヤハリ利益ハアルモノデアル、負擔輕減ニハナルモノデアル、減税デアルト云フ建前ニハ是デ宜シカラウト思フノデアリマスノデアル、減税デアル、負擔輕減ニハナルモノデアル、減税デアルト云フ建前ニハ是デ宜シカラウト思フノデアリマスノデアル、減税デアル、負擔輕減ニ相應スルダケノ負擔ノ輕減ヲ行ハレネバ、吾々ハ何等效果ヲ認メ得ナイ、此寒イ雪空ニ裸ニナツテ居ル者ニ、薄イ著物ヲ一枚吳レテモ何等效果ガナイ、ヤハリ風邪ハ引イテシマフ、ソレダカラ此寒サヲ防ゲルダケノ減税ヲ受ケナケレバ、何等減税ヲサレタ效果目的ト云フモノハ果シ得ナイト申上ゲテ居ルノデ、減稅ニ依ッテハ減税ノ目的ヲ達シ得ナル程度ニ依ッテハ減税ノ目的ヲ達シ得ナル政策ト致シテ聲明シタノデアッテ、此政策ニ對シテハ、機會ノアル度ニ減稅ヲ行ヒタイト云フ考デ、又行ヒツ、アルノデアリマス、其例ハ先刻モ申シタ通リ、義務教育費ノ國庫負擔ト雖モ同ジ精神カラ出デタモノデアリマス、斯ガ、六年度ノ方デハ非常ニマダノレバ別問題デアリマスガ、私ハ減稅デ今回ノ減税計畫モ同様ノ趣旨ヨリ出デタモノデ、是ガ減税ニナラヌト言ハレバアルト考ヘテ居ルノデアリマス

ノ奥ヘデモ引込ンデ居ルヨリ外ニ仕方  
ガナクナルデハナイカ(「脱線々々」眞面目ニヤレ」ト呼フ者アリ)眞面目デ  
アル、此世ノ中ヲ見テ見ロ、大衆ノ困ツ  
テ居ルノガ分ラナイカ

〔發言スル者多シ〕

○本田委員長 静カニ願ヒマス、高橋君ニ申上グマスガ、成ベク言葉ヲ御慎  
ヲ願ヒマス、用語ヲ御慎ヲ願ヒマス  
○高橋委員 用語ハ慎ミマスガ、與黨ノ連中ハ何ヲ言テ居ル、大キナ聲ナド  
ヲ出シテ……

○本田委員長 成ベク静肅ニ願ヒマス  
○高橋委員 總理大臣モシッカリシタ  
答辯ヲシナケレバナラナイ、吾々ニハ  
フザケタ答辯トシカ考ヘラナイ、眞面目ナ答辯ヲ希望スル、吾々ハ代議士  
トシテ國民ノ代表ニ立ツテ居ル以上ハ、  
少數ナリト雖モ國政ヲ論議スル上ニ於  
テ、與黨諸君トハ何等輕重ガナイバカ  
リデハナイ、吾々死ヲ賭シテモ國ヲ守  
ルト云フ決心ヲ持ツテ居ル、ソノナ不眞面目ナ答辯ニ對シテハ吾々ハ激動セザ  
ルヲ得ナイデハナイカ、ソレダカラ與  
黨ノ諸君ハ首相代理ニ向ツテ足リナイ  
所ヲ補フベキデハナイカ、シッカリ答辯  
セイト言ツテ掛聲ヲスルナラ格別、私ニ  
向ツテ餘計ナコトヲ言フノハ何事デア  
ル、此意味ヲ以テ委員長カラ注意セラ  
レタイ

○武田委員 總理大臣代理ハ私ノ質問ニ對シテ、ドウモ故ラニ要領ヲ外レタ  
ヤウナ御答辯ヲ下サルカラ議論ガ紛糾  
シテ困リマス、私ハ更ニ先程ノ質問ヲ  
モット分リ易クモウ一一遍伺ヒマス

○武田委員 總理大臣代理ハ、私ハ先程例ヲ以テ  
簡單ニ質問ヲシタ事柄ニ依ツテ如何ヤ  
ト云フト、減税シタ效果ガ減ルモノデ  
アル、サウ云フ場合ガアルコトヲ御認  
ニナルカドウカ、是ハ租税轉嫁ノ理

法ヲ御考ヘ下サルナラバ直グ分ルコト  
デアル、一寸御隣ノ小川博士ニ御聽ニ  
ナッテモ直グ分ルコトデアル、是ハ轉嫁  
ス、發言者ハ用語ヲ御慎ニナルコトヲ  
希望致シマス

○幣原國務大臣 只今高橋君ノ御問ニ  
致シタ積リデアリマス、此減税デ以テ  
實ハ餘リ減税ニナラヌデハナイカ、效  
果ハ非常ニ少イデハナイカト仰セラレ  
マスケレドモ、政府ハ此世界的不景氣  
ニ伴フ所ノ大イナル歲入減ニ拘ラズ是  
ダケノ事ヲヤッタ、其誠意ハ國民ガ諒解  
シテ吳レル所デアラウト私ハ思フノデ  
アリマス、少ナシト雖モ減税ハ減税デ  
アリマス、是ガ減税デアリマス以上ハ、  
即チ吾々ハ著々吾々ノ信念、吾々ノ政  
策ト云フモノニ對シテ、忠實ニ之ヲ行ッ  
テ居ル證據ニナルデアラウト思フノデ  
例モサウデアリマス、三厘五厘ノ砂糖  
ノ稅ガ、ドウシテモ是ハ良イ意味ニ於  
テ消費者ニ轉嫁スベキ道理ハナイ、二  
ト云フ金ハ計算ニハイツテ居ラヌノデ  
アリマス、先程葉書ノコトニ付テ申上  
ゲタ通り、是ハ動カスベカラザル事實  
デアリマス、二錢出シテ一錢五厘ノ葉  
書ヲ買フ時ニアナタノ監督ノ下ニアル  
郵便局デ五厘ノ釣錢ヲ寄越サナイデ、  
五厘ノ切手ヲ寄越シテ居ルデハアリマ  
カ、之ヲ御認ニナルカドウカ、如何ナ  
ル場合デモ消費稅ハ一錢減ズレバ一  
錢、五厘減ズレバ五厘、其五厘ダケ消  
費者ニ負擔ヲ輕減セシメヨウト云フ  
目的デアリマセウケレドモ、稅額ノ如  
何ニ依ツテハ其目的ガ達セラレナイ場  
合ガアリ得ルカドウカト云フコトヲ同  
ノ理法トシテ明白ナ事柄デアル、然ル  
ノナルカドウカ、是ハ租税ノ轉嫁ノ理

○小川政府委員 稅ノ技術ノ事デアリマス マスカラ私カラ御答申上ゲマス	ヲ願ヘバ宜イノデアリマス、餘計ナ事 ハ仰シヤラヌデモ宜イノデアリマス
○武田委員 後カラ政府委員ガ補足ナ サルノハ宜イガ、私ノ質問ハ即チ首相 代理ニ御伺シテ居ルノデアリマスルカ ラ、首相代理ノ責任アル答辯ヲ承ッテ次 ノ質問ニ移ラナケレバナラヌト思フ	マスカラ私カラ御答申上ゲマス サルノハ宜イガ、私ノ質問ハ即チ首相 代理ニ御伺シテ居ルノデアリマスルカ ラ、首相代理ノ責任アル答辯ヲ承ッテ次 ノ質問ニ移ラナケレバナラヌト思フ
○小川政府委員 計算ノ問題デアリマ ス、計算ノ問題デスカラ私ガ答ヘタ方 ガ便利デハナイカ……	合トアリ得ル、其實例ヲ私ハ今現ニ御 提案ニナツタ砂糖ニ例ヲ取ッテ御話シタ ノデアリマス、然ルニドウヤラ首相代理 ハ一錢デモ、五厘デモ、假令一厘デモ 減ズレバ減ジタダケ消費者ニ轉嫁スル カノ如キ御答辯デアルカラ、之ヲハッキ リ承リタイ、減税ノ建前ハ消費者ニ其 恩典ノ及ブヤウニト云フ意味デ御立テ
○武田委員 首相代理ノ答辯ヲ伺ッテ 然ル後ニ若シ不十分デアツタラ政府委 員ノ補足ヲ願ヒマス	ニナツタノデアリマセウ、ソレハ私モ認メ マス、故ニ其事ヲ御尋シテ居ルノデハ ナイ、餘リ減税額ガ少ナイノデ、其建 前通リニ行カナイ場合ガアリ得ルト私 ハ申シテ居ルノデアリマス、ソレハア リ得ルカ、アリ得ナイカ、幾ラデモ減 稅スレバ必ずソレダケノ效果ハ消費者 ニ行クモノデアルト云フ建前カドウ ニ御答ニナツテ居ル、此度消費稅ヲ減ズ ニ付キマシテ、砂糖消費稅ヲ今 回ノ提案ノ如ク減額スレバ、其結果ハ ドウナルカ、一人當リドウナルカ、或 ハ一家族當リドウナルカト云フヤウナ 數字ニ付キマシテハ、政府委員カラ御 答申シテ然ルベキコト、思ヒマスガ、 要スルニ此減税ハ減税デアル、消費者 ニ取ッテモ是ダケノ減税ニナルベキモ ノデアル、斯様ナ建前デアルト申スノ デアリマス
○武田委員 首相代理ハ消費稅ノ減額 ハ、其減額ノ恩典ヲ消費者ニ轉嫁セシ ムルヤウナ建前デアルト仰シヤル、其	合トアリ得ル、其實例ヲ私ハ今現ニ御 提案ニナツタ砂糖ニ例ヲ取ッテ御話シタ ノデアリマス、然ルニドウヤラ首相代理 ハ一錢デモ、五厘デモ、假令一厘デモ 減ズレバ減ジタダケ消費者ニ轉嫁スル カノ如キ御答辯デアルカラ、之ヲハッキ リ承リタイ、減税ノ建前ハ消費者ニ其 恩典ノ及ブヤウニト云フ意味デ御立テ
○小川政府委員 一寸簡單ニ私カラ 申上ゲマスガ、武田君ノ御問ニ對シテ 申上ゲマス（發言スル者多シ）一寸御 聽キ下サイ、其答辯ヲ補充スル爲ニ政 府委員ガ申上ゲタイト云フノダカラ御 聽ニナツテハドウデスカ	「發言スル者多シ」
○武田委員 誤解ガアルトイケナイカ ラ簡単ニモウ一遍申シマス、委員長ハ 今首相代理ハ私ノ質問ニ御答ニナツテ マス、故ニ其事ヲ御尋シテ居ルノデハ ナイ、餘リ減税額ガ少ナイノデ、其建 前通リニ行カナイ場合ガアリ得ルト私 ハ申シテ居ルノデアリマス、ソレハア リ得ルカ、アリ得ナイカ、幾ラデモ減 稅スレバ必ずソレダケノ效果ハ消費者 ニ行クモノデアルト云フ建前カドウ ニ御答ニナツテ居ル、此度消費稅ヲ減ズ ニ付キマシテ、砂糖消費稅ヲ今 回ノ提案ノ如ク減額スレバ、其結果ハ ドウナルカ、一人當リドウナルカ、或 ハ一家族當リドウナルカト云フヤウナ 數字ニ付キマシテハ、政府委員カラ御 答申シテ然ルベキコト、思ヒマスガ、 要スルニ此減税ハ減税デアル、消費者 ニ取ッテモ是ダケノ減税ニナルベキモ ノデアル、斯様ナ建前デアルト申スノ デアリマス	○小川政府委員 一寸簡單ニ私カラ 申上ゲマス（發言スル者多シ）一寸御 聽キ下サイ、其答辯ヲ補充スル爲ニ政 府委員ガ申上ゲタイト云フノダカラ御 聽ニナツテハドウデスカ
○武田委員 誤解ガアルトイケナイカ ラ簡単ニモウ一遍申シマス、委員長ハ 今首相代理ハ私ノ質問ニ御答ニナツテ マス、故ニ其事ヲ御尋シテ居ルノデハ ナイ、餘リ減税額ガ少ナイノデ、其建 前通リニ行カナイ場合ガアリ得ルト私 ハ申シテ居ルノデアリマス、ソレハア リ得ルカ、アリ得ナイカ、幾ラデモ減 稅スレバ必ずソレダケノ效果ハ消費者 ニ行クモノデアルト云フ建前カドウ ニ御答ニナツテ居ル、此度消費稅ヲ減ズ ニ付キマシテ、砂糖消費稅ヲ今 回ノ提案ノ如ク減額スレバ、其結果ハ ドウナルカ、一人當リドウナルカ、或 ハ一家族當リドウナルカト云フヤウナ 數字ニ付キマシテハ、政府委員カラ御 答申シテ然ルベキコト、思ヒマスガ、 要スルニ此減税ハ減税デアル、消費者 ニ取ッテモ是ダケノ減税ニナルベキモ ノデアル、斯様ナ建前デアルト申スノ デアリマス	「發言スル者多ク「議場ヲ整理シ 他發言スル者多シ」
○本委員長 委員長ハ整理シテ居ル 合ニ政府委員カラ補足ヲ願ツテ宜シイ	○本委員長 轉嫁スルト言ッテ居リ マス、御聽ナサイ、轉嫁スルト總理ハ スレバ政府委員カラ答辯ヲ致シマス 答ヘテ居リマス
○本委員長 委員長ハ整理シテ居ル 合ニ政府委員カラ補足ヲ願ツテ宜シイ	「ソシナ事ガ分ラヌカ」ト呼ヒ其 他發言スル者多シ
○本委員長 委員長ハ整理シテ居ル 合ニ政府委員カラ補足ヲ願ツテ宜シイ	○本委員長 轉嫁スルト言ッテ居リ マス、御聽ナサイ、轉嫁スルト總理ハ スレバ政府委員カラ答辯ヲ致シマス 答ヘテ居リマス
○本委員長 委員長ハ整理シテ居ル 合ニ政府委員カラ補足ヲ願ツテ宜シイ	「發言スル者多ク「議場ヲ整理シ 他發言スル者多シ」

○武田委員 消費税ハ消費者ニ轉嫁スルカト云フコトハ決シテ伺ッテ居ラヌ、轉嫁スル建前ダト云フコトハ初カラ認メテ居ル、サウ云フ事ヲ私ハ伺ッテ居リマセヌ、餘リニ金額ガ少イト轉嫁シナイ場合ガアリ得ルカドウカト云フコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、消費税ハ消費者ニ轉嫁スル位ナコトハキマッテ居ル、ソンナ事ヲ私ハ聽イテ居ナイ、何故ニ首相代理ハ此明白ナル質問ニ御答ナザラヌカ、建前ヲ聽イテ居ラヌ

〔發言スル者多シ〕

○本田委員長 静カニ……

○武田委員 消費者ニ轉嫁サレルモノダト云フヤウナ事ハ極リ切ッタ話デアル、ケレドモ減ズル場合ニ於テモ、増加スル場合ニ於テモ、金額ガ餘リ少イト云フト、ソレハ轉嫁シナイ場合ガアリ得ルト云フコトヲ御認ニナルカドウカト云フ事ヲ私ハ聽イテ居ルノデアリマス、ソレダケノ事ヲ總理大臣ガ御答ニナツタ上ニ、政府委員ノ補足的説明ヲ求メマス、是程明白ナ質問ニ對シテ何故ニ顧ミテ他ヲ言フヤウナコトヲ言フノデアルカ、一言ニシテ答辯ハ盡キルデハアリマセヌカ

○幣原國務大臣 砂糖消費税ノ減税ハ其消費者ニ對シテ轉嫁スルヤ否ヤト云フ質問デアリマスカラ、私ハ認メテ居ルト申シタノデアリマス、轉嫁シナイ

モノモアリ得ルデヤナイカト云フ御話スルモノト認メテ居リマス、斯様ニ申シテスルモノト認メテ居リマス、數字ニ付キマシテハ政府委員カラ御答申スト、斯様ニ申シテ居ルノデアリマス(拍手)

○本田委員長 是デ本日ハ散會シマス、次回ハ月曜ノ午前十時カラ繼續シマス

午後零時五分散會

昭和六年二月十四日印刷

昭和六年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者

常盤印刷株式會社